

質問者 阿部律子

質問事項	質問の要旨
1 個別避難計画と防災訓練の検証は	<p>令和7年11月15日に実施された原子力防災訓練ですが、同僚議員と登米総合体育館まで移動し視察しました。</p> <p>今回、女川町の参加数は4行政区で36人とのことです ですが、次の点について伺います。</p> <p>(1) 避難先を特定しての参加者募集とのことです が、具体的にバスや自家用車の割り振り等、どのような準備をし、今後さらに参加者を増やす対策は。</p> <p>(2) 今回の携帯アプリ活用の状況と活用できない人への対応は。</p> <p>(3) 避難行動要支援者の数は令和5年4月1日現在で1546人のデータがあります。</p> <p>特に一人暮らしで、歩くことが困難な方には個別避難計画があると思いますが、現状はどのようになっていますか。</p> <p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>

質問者 阿部律子

質問事項	質問の要旨
2 学校給食費の無償化は全員対象に	<p>現在、学校給食費は一部無償化となり、第2子以降と扶助費を受けている子供たちで約6割が無償化の対象となっています。</p> <p>今回、国の方針として2026年度から全国一律に小学校の給食の無償化が示されていますが、中学校はその後との情報です。</p> <p>(1) 改めて、無償化の対象となる小中学校それぞれの扶助費対象者数と第2子以降の対象人数はどうなっていますか。</p> <p>(2) 少子化の中で出生数の減少が気になります。令和6年度は17人、令和7年度は21人の見込みとのことですが、このような状況が続けば、第2子以降の無償化の人数は極わずかではないでしょうか。どのように考えていますか。</p> <p>(3) 来年度、国の方針で小学校の給食費の無償化が示されていますが、中学校はまだです。来年度の女川町町制施行100周年となる記念の年に、国に先んじて、小中学校全員を対象とした学校給食費の無償化を実施してはと考えますが、見解を伺います。</p> <p>(質問の相手：町長、教育長、担当課長)</p>

質問者 阿部律子

質問事項	質問の要旨
3 どうなる健康保険証	<p>厚労省は12月1日で従来の健康保険証全ての有効期限が切れるとして、以降はマイナ保険証に切り替えるよう盛んに宣伝しています。</p> <p>(1) 12月1日で期限切れとなるのは、会社員や公務員などが加入している被用者保険の約7700万人ですが、以降は「資格情報のお知らせ」が届くとしています。</p> <p>国保や後期高齢者医療保険の加入者には「資格確認書」が届き、マイナ保険証のない人にも通常の保険診療が受けられますが、「資格情報のお知らせ」も同じように保険診療が受けられると理解して良いですか。</p> <p>(2) マイナ保険証を持っている人は全人口のうち7割、マイナ保険証の利用率は37.14%（10月末）とのデータですが、本町の実態は。</p> <p>(3) マイナ保険証の取得は任意ですが、「資格情報のお知らせ」の利用は来年3月末までの暫定的な対応、国保や後期高齢者医療などの「資格確認書」は7月末までの暫定措置とあり、その後はどうなるのかとの不安の声もあります。きちんと保険料を納入しているのですから、その</p>

質問者 阿部律子

質問事項	質問の要旨
	<p>後も町として国の指導を受けながら「資格確認書」を全員に交付すべきと考えますが。</p> <p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>